

令和4年度 印西市民アカデミーだより 第2号

講座1：市内めぐり

5月10日（火）、市バスで印西市内の公共施設を巡る約3時間の小さなバス旅を体験しました。ぐるりと市内をめぐりながら印西市の概要を学び、今後のアカデミーでの学習の基礎とします。コースは、印西市役所→木下交流の社→(小林コミュニティプラザ)→(本埜支所)→本埜スポーツプラザ→印旛公民館→(印旛支所)→(そうふけふれあい文化館)→(中央駅前交流館)→松山下公園総合体育館→文化ホールです。木下交流の社広場からの雄大な利根川(坂東太郎)の流れ、印旛公民館玄関前の大王松の握りこぶしの倍はあろうかという松ぼっくり、目の前で見える総合体育館内クライミング施設でのトレーニング風景など、初めて見る風景に感動しました。普段訪れる機会がめったにない本埜・印旛地区への訪問は有意義だったようです。



木下交流の社広場



大王松



松山下公園総合体育館



文化ホール

講座2：川めぐり

5月21日（土）、中央公民館の裏手を流れる六軒川を発着場とする「いんざいぶらり川めぐり」を体験しました。これは印西市観光協会が運航する屋根付きの遊覧船で六軒川、弁天川、手賀川を巡る約60分の船旅です。水面に近い目線でみる風景はとても新鮮で空が広く感じられ、その開放感が最高です。下手賀沼と亀成川の合流地点では、手のひらサイズのヒナを子育てするコブハクチョウに遭遇、その微笑ましい姿に一同顔がほころびます。下船後、明治～大正～昭和にかけて船橋市に匹敵する商業都市として栄えた六軒地区を散策しました。大正時代初めの六軒地区の地図をたよりにわずかに残る往時の痕跡を探しながら散策を楽しみました。

現在も、鰻屋、だんご屋、せんべい屋が老舗として残っており往時の味を楽しめます。



いんざいぶらり川めぐり



コブハクチョウの親子



巖島神社・水神社&第24代横綱鳳谷五郎の碑